



議会だより

2010
No.110

発行 大野城市議会
編集 広報委員会
平成22年 8月15日

「史跡・文化財の説明」はP15をご覧ください。

東地区の史跡・文化財



① 四王寺山と大野城跡

② 三角縁神獣鏡

③ 釜蓋道標石

④ 王城山4号墳

⑤ 夏越し祓い祇園踊りの絵馬

主な記事

- ・平成22年第2回6月定例会…………… P 2 ~ P 4
- ・議会のここが知りたい(第11回)…………… P 5
- ・口蹄疫被害に対する支援のための決議 …… P 6
- ・審議結果…………… P 7
- ・一般質問…………… P 8 ~ P14
- ・大野城市議会トピックス…………… P15
- ・東地区の史跡・文化財…………… P15
- ・輝け!コミュニティ…………… P16
- ・あんてな…………… P16

平成22年 第3回9月定例会(予定)

- 9月1日(水) 10:00 ~ 本会議 提案理由説明
- 6日(月) 10:00 ~ 本会議 質疑・付託
- 7日(火) 10:00 ~ 各常任委員会 10日迄
- 13日(月) 10:00 ~ 決算特別委員会 15日迄
- 16日(木) 9:30 ~ 本会議 一般質問
- 17日(金) 9:30 ~ 本会議 一般質問
- 22日(水) 10:00 ~ 本会議 報告・討論・採決

本会議、各委員会は、傍聴できますので、みなさまの傍聴をお待ちしています。
本会議一般質問は、ケーブルテレビ(19ch・702ch)で放送予定です。

6月から議会も
エコスタイルで
取り組んでいます。



平成22年第2回6月定例会を6月1日(火)から6月16日(水)まで開催しました。
今定例会では、条例の一部改正をはじめとして全部で20案件を審議し、全て可決・承認・同意し、報告を受けました。
一般質問は、12名の議員が行いました。

各常任委員会に付託された 主な案件と審議結果

総務市民委員会

市税条例の一部を改正する条例
について

- ・ 扶養控除の見直しに伴う扶養親族申告書の提出を義務化するもの
- ・ 非課税口座内における小額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置を創設するもの
- ・ 市たばこ税の税率を引き上げるもの

委員会では、扶養控除の見直し、対象世帯数、非課税口座について等の質疑があり、執行部の回答を受け、反対討論ののち賛成多数で可決すべきものと決しました。
本会議では、賛成・反対討論がありましたが、賛成多数で、原案のとおり可決しました。

大野城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- ・ 配偶者の就業等の状況にかかわらずなく、育児休業及び育児短時間勤務並びに部分休業を認めるとともに、育児休業を再取得できる職員の範囲を見直すもの

委員会では、職員の育児休業の取得状況、男性職員に対しての育児休業の取得の周知について等の質疑があり、執行部の回答を受け、可決すべきものと決しました。
本会議では、全員異議なく原案のとおり可決しました。

選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願について

委員会では、紹介議員の補足説明を受け審査に入りました。
審査では様々な意見が出され、閉会中の継続審査となりました。

議会日誌

5月

- 11日 千葉市川市議会視察来庁
- 12日 神奈川県厚木市議会視察来庁
- 13日 愛知県小牧市議会視察来庁
- 13日 青森県むつ市議会視察来庁
- 19日 総務市民委員会行政視察(長岡京市・奈良市・寝屋川市 21日まで)
- 20日 埼玉県三郷市議会視察来庁
- 20日 岐阜県可児市議会視察来庁
- 20日 埼玉県鳩ヶ谷市議会視察来庁
- 24日 議会運営委員会
- 24日 愛知県知多市議会視察来庁
- 25日 全国市議会議長会総会
- 26日 岩手県釜石市議会視察来庁
- 27日 6月
- 1日 本会議(初日)・議会運営委員会
議員厚生会役員会・全員協議会
- 2日 広報委員会
- 4日 本会議(2日目)
- 7日 総務市民委員会・福祉文教委員会
- 8日 都市環境委員会協議会
- 9日 予算委員会
- 11日 本会議(3日目 一般質問)
- 14日 議会運営委員会・議員厚生会総会
本会議(4日目 一般質問)
- 16日 本会議(最終日)
議会運営委員会・全員協議会
議員厚生会役員会
- 23日 宮城県富谷町議会視察来庁
- 24日 糸島市議会視察来庁
- 28日 福祉文教委員会行政視察(清瀬市・江戸川区・川口市 30日まで)

平成22年 第2回大野城市議会 6月定例会



本会議では、閉会中の継続審査とすることで、全員異議なく決定しました。

福祉文教委員会

生活保護の「老齢加算」復活を要求する国への意見書を求める請願について

委員会では、紹介議員の補足説明を受け、さらに関係執行部から制度等に関する説明を受け審査に入りました。

審査では賛成・反対の意見及び、討論がそれぞれあり、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

本会議では、賛成の討論がありませんでしたが、賛成少数で不採択となりました。

予算委員会

平成22年度一般会計補正予算

(第1号)

歳入歳出をそれぞれ

3、265万4千円追加

補正後の予算

297億9、365万4千円

その概要は、次のとおりです。

1つ目は、平野泰三氏から受けた1億円の寄付金を財源とした平野福祉基金を活用して、高

齢者、障がい者等に対する福祉事業を3事業追加して実施するものです。

質疑は、新規事業として開催される介護講演会の内容について等がありました。

2つ目は、平成22年4月に策定した災害時要援護者支援制度に基づき、災害時に援護が必要な人の登録を行うための費用を追加するものです。

質疑は、災害時要援護者支援制度の整備に係る情報収集のためのダイレクトメール発送委託業務について等がありました。

3つ目は、地域経済の活性化を図るため、福岡県の地域商品券による地域経済活性化支援施策に合わせ、大野城市商工会の「プレミアム付き商品券」発行事業に補助を行うものです。

質疑は、プレミアム商品券の発行に対する県の補助について等がありました。

4つ目は、離職を余儀なくされた人に対して、生活防衛の緊急対策として実施している緊急雇用創出事業臨時特例基金事業の追加及び変更を行うものです。質疑は、市が雇用する職員の配置先について等がありました。

5つ目は、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業で、南コミュニティ運営委員会が太鼓等を購入する費用を

◆7月◆

5日 福岡市議会視察来庁

神奈川県厚木市議会視察来庁

12日 広報委員会

16日 広島県尾道市議会視察来庁

市議会の

虚礼廃止に

ご理解を!

公職選挙法では、選挙区内で、次のようなことが禁止されています。

議員や後援会が寄付をしたり、有料のあいさつ広告を出すこと

議員や後援会がお中元やお歳暮をおくること

議員が暑中お見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと(自筆の答礼は除く)

市民や団体が議員に寄付などを求めること

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

平成22年第2回 大野城市議会 6月定例会・受賞報告

補助するものです。

質疑は、宝くじ助成事業の概要について等がありました。

委員会で質疑に対する執行部の回答を受け、反対討論がありました。賛成多数で可決すべきものと決しました。

本会議では、反対討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

平成22年度

介護保険特別会計補正予算

(第1号)

歳入歳出をそれぞれ

1億5、448万9千円追加

補正後の予算

42億1、400万2千円

内容は次のとおりです。

1つ目は、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、各2施設の新設等のための補助金分を追加するものです。

2つ目は、消防法改正によりスプリンクラー設備の設置対象となった既存の小規模福祉施設のスプリンクラー設置費用を、

国庫支出金により補助するため追加するものです。

3つ目は、市内の既存施設でスプリンクラー設置費用が国・

県の補助対象とならない施設及び設置義務がない新規開設施設に対し、平野福祉基金を財源にスプリンクラー設置費用を補助するため追加するものです。

4つ目は、高額医療合算介護サービス給付費を追加するものです。

委員会では、小規模福祉施設へのスプリンクラー設置補助について、地域密着型サービス緊急整備費補助金の交付要綱の整備について等の質疑があり、執行部の回答を受け、可決すべきものと決しました。

本会議では、質疑・討論もなく原案のとおり可決しました。

新しい予算委員会で審査

5月1日に、予算委員が、選任されました。

この予算委員会(常任委員会)で1年間、一般会計、特別会計及び事業会計に関することを審査していきます。

委員は次のとおりです。

委員長 福山保廣

副委員長 古賀健一

委員 中西毅・佐藤義廣・手塚隆行・天野嘉久孝・関岡俊実・清水純子・松崎正和・野黒美正

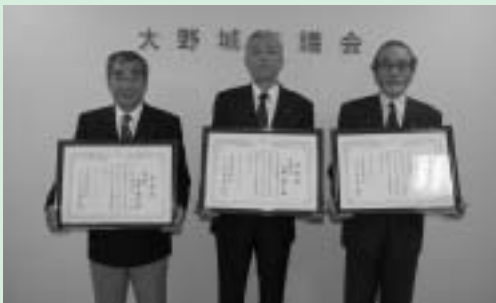
彦・高山やす子(順不同)

受賞報告

全国市議会議長会表彰

5月27日に開催された全国市議会議長会総会において、永年勤続表彰の授与がありました。

6月定例会初日に議場において、永野義人議長(議員15年以上)、手塚隆行議員(同)並びに野黒美正議員(同)に表彰の伝達が行われました。



左より、手塚議員・永野議員・野黒美議員

大野城市議会

常任委員会別名簿

総務市民委員会(8名)

委員長 神野芳行
副委員長 田中健一

永野義人
香野信義
関岡俊実
福山保廣
安成恵子
松下真一

松崎正和
赤井田八千代

福祉文教委員会(7名)
委員長 白石重成
副委員長 佐藤義廣

古賀健一
高橋龍雄
高山やす子

都市環境委員会(7名)
委員長 清水純子
副委員長 天野嘉久孝

野黒美正彦
手塚隆行
中西毅

丸山恵美子
岡部和子

ホームページアドレス

<http://www.city.onojo.fukuoka.jp/shigikai>

議会だより 8月15日

議会のことが知りたい(第11回) 常任委員会について



常任委員会は市の事務を分野ごとに調査したり、審査を行ったります。

大野城市には4つの常任委員会があります。議員はいずれかの委員会に所属しています。

総務市民委員会(8名)

企画政策部・総務部・市民部・出納室並びに監査委員・選挙管理委員会の所管に属する事項について話し合います。

福祉文教委員会(7名)

福祉高齢部・教育委員会・子ども部の所管に属する事項について話し合います。

都市環境委員会(7名)

建設部・環境生活部・上下水道局・農業委員会の所管に属する事項について話し合います。

予算委員会(11名)

一般会計をはじめ、特別会計・事業会計などの市の予算全般について話し合います。

議案や請願等の審査のながれ

【本会議】

(付託)本会議で委員会に対し、議案や請願等の審査を付託されます。

【委員会】

(説明)議案等について、担当執行部から、請願等について、紹介議員等から説明を受けます。

(質疑)委員が質問を行い、担当執行部が回答を行います。

(討論)委員が賛成または反対の討論を行います。

(採決)委員会として、賛成すべきか反対すべきかを決めます。

【本会議】

(委員長報告)委員長が委員会審査の結果を報告します。

その他の委員会活動

所管事務調査

市の重要な施策を実施する場合や一部事務組合の活動状況等について、執行部から詳しい説明や報告を受け、質問等を行います。

先進地の調査研究

まちづくりの参考のため、先進的な事例などの調査研究も行っています。

請願書(陳情書)の様式例

請願書(陳情書)は、左図の様式例のとおりです。請願は、所管委員会に付託され審査されますが、陳情は、写しの配布のみとなります。

陳情の場合は、紹介議員の必要はありません。請願の審議結果については、後日請願者に通知します。

表 紙

平成 年 月 日

大野城市議会議長 様

紹介議員 ○○○○ 印

△△△△△△に関する請願書
(陳情書)

請願(陳情)者

住所

氏名 印

(法人の場合はその
名称及び代表者名)

内 容

△△△△△△に関する請願書
(陳情書)

1. 請願(陳情)の要旨

2. 請願(陳情)の理由

※参考資料、署名簿があれば、
末尾に添付してください。

この様式は、大野城市議会ホームページからダウンロードできますので、ご利用ください。

口蹄疫被害に対する支援を決議

口蹄疫被害に対する支援のための決議

今年4月に宮崎県内で発生が確認された、家畜伝染病の口蹄疫は関係機関の懸命な努力にもかかわらず、県全域に「非常事態宣言」まで出されるに至った。

このため、宮崎県内では畜産業のみならず、観光や流通、小売り、飲食などで風評被害も広がり、地域経済全体に深刻な影響が出ている。

ついでには、存亡の危機に瀕している畜産農家をはじめ、地域の生活・経済再建のため、我々大野城市議会は、市当局および市民と一体となって支援することをここに決議する。

平成22年6月11日

大野城市議会



宮崎県福岡事務所にて

大野城市議会は宮崎県内で発生している口蹄疫被害に対して、市及び市民と一緒に支援することを決議しました。

また、大野城市議会より義援金として、10万円をおくりました。



頑張れ宮崎!

審 議 結 果
平成22年 第 2 回 6 月定例会

議案番号	件 名	本会議結果	付託委員会
第44号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市税条例の一部を改正する条例)	賛成多数 承認 (賛成20・反対1)	
第45号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例)	賛成多数 承認 (賛成20・反対1)	
第46号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	賛成多数 承認 (賛成20・反対1)	
第47号議案	大野城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務市民委員会
第48号議案	大野城市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務市民委員会
第49号議案	大野城市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務市民委員会
第50号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決 (賛成20・反対1)	総務市民委員会
第51号議案	平成22年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	賛成多数 可決 (賛成20・反対1)	予算委員会
第52号議案	平成22年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致 可決	予算委員会
報告第3号	平成21年度大野城市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報 告	
報告第4号	平成21年度大野城市水道事業会計予算繰越計算書について	報 告	
報告第5号	平成21年度大野城市下水道事業会計予算繰越計算書について	報 告	
報告第6号	平成22年度大野城市土地開発公社の予算について	報 告	
報告第7号	平成22年度財団法人大野城市都市施設管理公社の予算について	報 告	
報告第8号	平成22年度財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の予算について	報 告	
報告第9号	平成22年度財団法人大野城市体育協会の予算について	報 告	
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	全会一致 同意	
請願第2号	生活保護の「高齢加算」復活を要求する国への意見書を求める請願書	賛成少数 不採択 (賛成4・反対17)	福祉文教委員会
請願第3号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する請願書	継続審査	総務市民委員会
決議案第1号	口蹄疫被害に対する支援のための決議	全会一致 可決	

- 陳情関係 - (全議員に写しを配付)

陳情第3号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書
-------	---------------------------

一般質問

6月定例会では、12名の議員が、以下の項目について行いました。

- 関岡俊実** 西鉄天神大牟田線沿線まちづくり計画の諸課題と見通しについて
地方自治法の改正に伴う基本構想の位置づけと議決事件の拡充について
- 高橋龍雄** 大野城市のアピール
安全安心まちづくり条例に関して
- 赤井田八千代** 災害時要援護者支援について
困難を有する子ども・若者に対する支援について
- 古賀健一** 市街地における水害対策・防災体制について
消防団について
- 丸山恵美子** 健康支援対策について
介護保険制度の維持について
- 松下真一** 教育問題について
フォレストシティ開発について

- 岡部和子** 消防団について
食育推進計画について
- 田中健一** 小学校外国語活動について
農業振興策について
- 佐藤義廣** 高齢社会への対応について
犯罪の防止について
- 野黒美正彦** 男女共同参画がないと、事業は衰退するのでは
宝くじ収益金と教育について
- 神野芳行** 本市の教育について
- 清水純子** 給食における食物アレルギーの対応について
認知症になっても地域で安心して暮らすために

注： がついている内容を掲載しています。

6月定例会一般質問 『この言葉』 説明しちゃらんね！

連続立体交差事業

西鉄天神大牟田線の春日原駅から下大利駅までを高架化する事業。踏切事故や交通渋滞を解消するなど、沿線の住みよい街づくりを促進するためにおこなわれる。

古代山城サミット

大野城市の市名の由来となっている日本最古の朝鮮式山城「大野城」（国の特別史跡）を市民共通の文化遺産として現代に活かし、また歴史的資源として未来につながることを目的として開催するもの。9月24日（金）・25日（土）に開催される。

地域ケア会議

高齢者が在宅で安心して暮らしているよう高齢者の状況を把握し、地域での見守り活動や支援活動を推進することを目的に各区に設置された会議。

ヒトパピローマウイルス

子宮頸がん等の原因といわれているウイルス。男性女性共に感染するありふれたウイルスでほとんどの場合感染しても免疫により自然消滅する。ウイルスの種類によりがん等に進行する可能性がある。

PISA型の学力

「知識や経験をもとに、自らの将来の生活に関する課題を積極的に考え、知識や技能を活用する能力」のこと。1988年より世界的に調査が始められ、2003年は41ヶ国の参加があった。

学習指導要領

全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするために文部科学省が各学校での教育課程を編成する際の基準を定めたもの。来年度から新しく改定される。

スロージョギング

時速4〜5km以下で走るジョギングのこと。持久力の「遅筋」だけで走ること、疲れの指標である乳酸もほとんど増えない。続けることで、効率よく糖や脂肪が消費される。

ゆとり教育

日本において、知識重視型の教育方針を詰め込み教育であるとして廃止し、経験重視型の教育方針をもって、ゆとりある学校をめざした教育のこと。小学校では1980年から、中学校では1982年から実施された。

西鉄天神大牟田線沿線の
まちづくりについて

関岡 俊実

問 連続立体交差事業の遅延と今後の見通しについて
 ・下大利駅東土地区画整理事業の今後の課題と対応について
 ・下大利南ヶ丘線の交通量増大に伴う渋滞等の回避策と西鉄バス路線の確保について

答 連続立体交差事業は、県が平成13年10月に都市計画決定を行い、平成16年2月に事業認可を取得し、同年3月に西日本鉄道と工事の基本協定を締結しました。しかし、福岡市の参入に伴い、平成20年3月に都市計画決定の変更を行い、現在これに伴う事業認可の変更を行っています。今後の見通しは、事業認可変更後、事業のスケジュールが確定しますので、地元説明会の実施等を経て、本格的な工着手となる予定です。

下大利駅東土地区画整理事業は、現在平成28年度の完了を予定していますが、本事業は、連続立体交差事業完了後に道路整備及び公園整備を行う予定です。現在、地区内には、移転対象物件を残していますが、今年度中の移転完了を目指し、努力しています。換地処分は、事業完

了前に実施できるように法務局等と調整を行っています。下大利南ヶ丘線については、現在

JR鹿児島本線のアンダーパス部分を含めた下大利工区の工事を行っています。完成後は、交通量が増大すると予測されますので、信号機の設置や歩道整備等を行い、車と人の安全な交通体系を作るようにしています。西鉄バス路線は、下大利南ヶ丘線のアンダーパス開通後、交通状況を見て判断するとの回答を西鉄から、得ています。地域の方の安全対策と早期の竣工等は、県に要望するとともに、市も検討していきたいと思えます。



連続立体交差事業 仮線予定地

協働のまちづくりと
内外へのアピール

高橋 龍雄

問 大野城市のアピールについて
 ・市ホームページの活用
 ・古代山城サミットの準備進捗状況
 ・9月サミット後の具体的取り組み
 ・文化財等の活用

答 ホームページを活用した、本市をPRする方策としては、観光、文化財などの関係課と協議を進めていきます。

今後、ホームページの検索画面も含め、市外の方が本市を訪れてみたいと思うような情報を充実させていきたいと考えています。

古代山城サミットの開催準備は、古代山城サミットを知っていたたく、市内外の皆様に関心を持っていただき、古代山城サミット及び関連イベントへの参加をしていただくという3つの観点から進めています。

9月のサミット後は、古代山城大野城の普及、連携と交流、活用という3つの視点からの取り組みを考えています。

具体的には、サミットを通してつくり上げられた山城を持つ自治体のネットワークを活用し、



四王寺山から望む大野城市

これらの自治体と連携をとっていきたくと考えます。また、将来を担う子どもたちのふるさとを愛する心を育てる取り組みを行っていきたくと考えています。文化財等の活用ですが、大野城跡・水城跡・牛頸須恵器窯跡など文化財の活用を図りながら、市指定文化財を含めて本市をアピールしていくには、まず、どこにどのような文化財があるかを知っていただく必要がありますので、パンフレットやホームページを活用し、周知を図っていきたく考えています。出前講座などで文化財の内容を知っていただくような取り組みも進めていきます。

災害時要援護者支援体制の
取り組みについて

赤井田 八千代

問 「大野城市災害時要援護者支援制度」の概要について

・対象者把握状況と要援護者登録について
・制度の見直しについて

答 災害時に支援を必要とする対象者から登録申請書の提出をしていただくことにより、具体的な支援活動内容や地域支援者（要援護者のお知り合いの方や地域の方で、日頃から要援護者に対し見守りが可能な方）の決定をします。地域支援者は災害時に避難所までの誘導等の支援活動を行います。

対象となる要援護者を把握するため、65歳以上の高齢者世帯約1万2000世帯、65歳未満の身体障害者手帳1級から3級及び療育手帳A、精神保健福祉手帳1級の保有者約1000名の対象者に対し、今後、郵送での登録申請書の配布を行い、あわせて広報・ホームページ等で登録の呼び掛けを行います。今回の呼び掛けに対して、登録がされなかった方のなかで支援が必要とされる方には、地域ケア会議等、福祉関係者が自宅訪問をし、登録を進めていきます。

登録申請書をもとに、地区別災害時要援護者台帳を作成し、関係諸機関とのネットワーク

を組み、地域では地域支援者が避難支援を行い、地域ケア会議が公民館を拠点に地域支援者から連絡を受け避難状況を把握し、自主防災組織が地域ケア会議からの要請を受け、避難・誘導等を行うなど、迅速な避難支援を計画しています。

制度の見直しは、動き出したばかりなので、意見があれば、より実効性のある制度となるよう検討していきます。登録された情報の更新は個々の情報提供により速やかに行っていきます。要援護者に対応したハザードマップの作成も、今後進めていきます。



大野城市ハザード（防災）マップ

市街地における
水害対策・防災体制について

古賀 健一

問 昨年7月の集中豪雨による被災地区の復旧状況について

答 南地区の新月の浦橋上流で発生した大量の土砂流出は、平野川の浚渫工事を取り除いています。東地区の釜蓋公民館前は、現在水路の改修工事を実施しています。川久保川の天神橋周辺は、水路の合流点の越流防止壁の設置工事を早急に実施します。

北地区の雑餉隈町地区は、雨水幹線は整備されていますが、道路側溝等の整備が遅れている箇所もあり、集水ますの数が少なく、道路勾配も小さくて他の地区より冠水しやすいようでした。したがって早急に測量調査を行い、今年度後期と来年度の2カ年で工事を実施する予定です。具体的には雑餉隈町2丁目付近の市道には、集水ますを20ヶ所設置、県道112号に横断側溝を2ヶ所設置、そして市道の側溝改良と舗装工事を実施します。山田1丁目の境目付近は、福岡市の春町公園付近の水路から溢水して浸水被害が発生しました。福岡市と協議した結果、福岡市が水路壁のかさ上げ工事を応急措置で、今年度実施します。

山田5丁目のマルキョウ付近は、管路の断面を現在よりも大きくする整備計画を立て、

改善します。筒井地区は、一部で周辺より低い所があり、また道路勾配が小さく冠水しやすい状況です。御笠川2丁目大野交番付近の水路整備は、今年度完了予定です。

山田橋と白鳥橋間は、河川の通水断面が小さいことから整備を「御笠川水系改修促進協議会」等を通じて、福岡県に継続的に強く要望を行っていきます。



がんは早期発見、早期治療！
早目の検診を

丸山 恵美子

問 乳がん・子宮頸がん検診事業の継続について
・前立腺がんの検診について
・子宮頸がんワクチンの公費助成について

答 乳がん・子宮頸がん検診は5歳ぎざみの節目年齢の検診です。5年継続が望ましいと思いますが、国庫補助が平成21年度は100%、平成22年度は50%になった経緯があるため、平成22年度は約700万円が市の負担となっている状況です。

平成23年度以降、国の補助率に変動があれば、その都度市の負担も変わることが予想され、国の動向、筑紫地区他市町の状況を注視しながら事業の継続を考えていきたいと思えます。

前立腺がんの検診は、現時点で厚生労働省では推奨されていません。しかし、近年確実に前立腺がんの罹患者が増えており、全国的に住民ニーズも高まっているため、本市でも国の動向を見ながら、検診実施を検討する必要がありますと考えています。

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスによって発症し、10

歳以上の女性を対象に半年間で3回の接種をすることで長期に免疫が持続可能です。ただし、

現在は、任意予防接種であり、本市での公費負担は、現時点では考えていません。しかし、このワクチンの接種費用は約5万円と個人負担が大きく、全国では半額助成を含め実施する自治体が出てきています。

また、平成22年5月の九州市長会では、子宮頸がんワクチンが定期予防接種と認められるよう国に提言することが決議されています。

本市では今後、公費負担を実施している市町村の状況や、国の動向を見きわめながら引き続き筑紫地区4市1町で協議し対応を検討していきたいと考えています。



教育問題について

松下 真一

問 全国学力調査について
・本市も参加した理由、学力調査の活用法、今後の方針について

・ゆとり教育の変更について
・ゆとり教育の見解、授業量増加の対策、学級編成基準の見直し
・少人数学級の導入について

答 全国学力学習状況調査は、国際的な学力指標となったPIRSA型の学力にも力点を置いたもので、子どもの論理的な思考力や表現力などをはかることができます。また、新学習指導要領が示す習得と活用の学習をどのように展開していくか、学校の課題も見えてきます。学校と家庭が連携して子どもの学力を向上させる取り組みを、より一層推進していくための資料として活用したいと考えています。

今後、国や県が実施するようであれば、本市も継続的な検証、改善サイクルの確立の為に実施をしたいと考えています。ゆとり教育の理念は、知識を教え込むのではなく、自分で考え、知識を獲得していく学習にじっくりと取り組ませるとい

もので、今回の学習指導要領改訂に至る経緯の中で重視された、思考力・表現力を高める教育と重なりがあるかと考えています。

現在市内の15校が学力向上プランをつくり、指導方法工夫改善教員等を中心に、取り組んでいます。特に学力差が生じやすい国語科、算数・数学科を中心に、習熟度別や興味・関心に応じたコース学習など、少人数によるきめ細やかな指導を実施しています。本市では、夢とみらいの子どもプランが昨年度から進められ、学力向上、人間性の育成といった面で、子どもたちをよりよく育てていきたいと考え、学校と一体となって取り組んでいると確信しています。学級編成基準は、国の決定に従います。また少人数学級の導入は考えていません。



市民の命と財産を守る
消防団の今後について

岡部 和子

問 消防団の条例定数について
本年度団員の状況
・大野城市消防団活性化検討委員会について
・今後女性消防団の募集は
・消防団として男女共同参画の新しい幅広い組織としては

答 消防団員の条例定数は、200名です。昨年度8名が退団し、本年度17名が入団しました。現在は、定数に対して190名の団員がいる状態です。

大野城市消防団活性化検討委員会は、現職の消防団員幹部・元消防団長、各コミュニティから推薦を受けた区長、春日・大野城・那珂川消防署長の計15名で構成され、検討課題として人員確保・分団管轄区域と配置人員の見直し、消防団の消防力の強化、消防活動の充実などが協議されました。この検討委員会の提言で、消防団員の確保策の一つとして女性消防団員の採用が挙がっており、今後、消防団活性化計画を策定する中で十分検討していきます。

消防団業務は消火・警防活動・防火指導や予防啓発と多様化しており、幅広い人材が求められ



他地域で活躍する女性消防団員

るようになってきています。このため、防火診断、火災予防広報、高齢者や子どもなどの社会福祉施設等における防火啓発、自主防災組織の指導及び応急手当の普及活動等においては、積極的に女性消防団員も活用することが必要だと考えています。

他市の消防団では、地域の高齢者世帯へ防火訪問、幼稚園の防火教育など、女性消防団員が実施することにより効果が上がっている活動も数多く見られます。

本市においても活動内容を十分検討していきながら男女共同参画としての新しい消防団組織としていきたいと考えています。

小学校外国語活動について

田中 健一

問 小学校外国語活動導入の準備状況について
・現時点での問題点・課題について
・市の支援策について

答 平成23年度から小学校において新学習指導要領が完全実施されます。

今現在、小学校の外国語活動は、国際理解教育の充実とコミュニケーション能力の育成を目的として、I E T（国際教育推進指導員）3名を配置し、クラス担任と一緒にチームティーチングで授業が行われています。

また、教材等は、これまで各学校が指導に使用してきました資料、英語ノートやデジタル教材などが各学校の実態に即して使われており、各学校の英語活動完全実施に向けた取り組みは、準備が整ってきていると考えています。

今後の課題としては、教員の指導技術の向上や指導方法の工夫があります。また、小学校・中学校の接続を円滑に進めるための連絡会などを実施する必要があると考えています。

市の支援策としては、先生の



チームティーチング授業の様子

研修機会を増やすために、外国語活動の先進校である大野南小学校で年間3回の公開授業を実施するとともに、本年度は11月11日に研究発表の実施を予定しています。

なお、新学習指導要領による教育が実施されることで、授業を効果的に進めるための電子黒板など、新たに必要となる教育関係予算は、必要に応じて教育委員会と十分協議を行っていきたいと考えています。

お年寄りを大切にしましょう

佐藤 義廣

問 高齢社会への対応について
 ・高齢化の進行状況について
 ・高齢者の健康づくりについて
 ・介護予防事業の状況について
 ・成年後見制度について
 ・高齢者の就業支援等について

答 本市の高齢化率は平成21年度末で16・3%で、この5年間で2・3%増加しています。国は22・1%、県は22・7%ですので、国・県との比較では低いのですが、今後ますます高齢化は進行すると考えています。
 高齢者の健康づくりとして、疾病の早期発見、早期治療のための特定健診、及び肺がん等の各種がん検診と結核検診を実施しています。特定健診の結果、

生活改善が必要な方には、対象者一人一人と聞き取りをしながら、食生活の改善、運動の

勧めなど、健康づくりに向けた特定保健指導を実施しています。健康づくりスポーツでは「MADOKAれくスポ祭」でウォーキングや軽スポーツを実施しています。また「スロージョギング」など新たな健康づくりスポーツについても体育指導委員会で検討していきます。

介護予防事業の状況は、認定された特定高齢者には介護予防事業としての「まどかスクール」への参加を呼びかけています。平成21年度の参加者は60人で、特定高齢者認定者の13・6%と、参加が少ない状況ですので、更なる工夫をしていきたいと考えています。

成年後見制度における首長申立は平成21年度に3件あり、相談については月2〜3件増えています。事務処理は今のところ対応可能です。

高齢者の就労支援は、現在国で高齢者雇用安定法に基づき、高齢者に対する就労支援策を進めており、その動向を見ながら市としての必要な支援について検討していきます。



男女共同参画がないと、事業は衰えるのでは

野黒美 正吉

問 大野城市役所の男女共同参画の現状について

答 昨年（今年度採用）の一般事務の職員採用試験申込者における男女の比率は、全申込者が1,001人で、男性が616人、率にして61・5%、女性が385人、率にして38・5%です。

一次試験（筆記試験）の合格者は、一般事務Aで、男性が63・9%、女性が36・1%です。

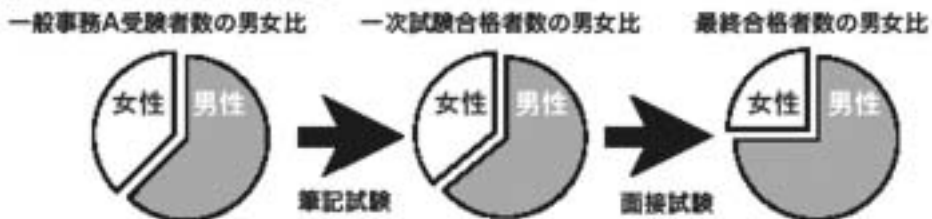
最終合格者（二、三次は面接試験等）は、一般事務のAで男性が75%（12人）、女性が25%（4人）となっています。

採用は、男性何名女性何名では採用していません。採用するときに性別で市役所自体が人数を固定してしまうということ自体に柔軟性を欠きます。そういうことは、法的に難しいのではないかと思います。

また、今回よりも女性が多い年もありましたし、少なかった年もあります。

職員全体に対する女性の割合は、全職員が442人、その中で女性が138人、31・2%となっています。

平成22年度採用の職員採用試験



少子高齢化の進展、国内経済活動の成熟化等我が国の社会経済情勢の急速な変化に対応していく上で、男女共同参画社会の実現は、緊急な課題となっている。
 男女共同参画社会基本法の前文より

これからの公教育はどうなる
 とうするの？

神野 芳行

問 300名程度の小規模校の統廃合や、小中学校一貫教育への移行の考えはあるか

・脱ゆとり教育と、新年度から質量が増す、新学習指導要領の教科に対し、授業枠は不足すると考えるがどうか
 ・幼児期の公教育のこれからは自治体の教育は、市長の強いリーダーシップが教育の質を左右すると考えるがいかがか

答 小規模校の統廃合は考えていません。小中一貫教育への移行は考えていませんが、小中連携を今後も推進していきます。新学習指導要領の改訂は、「脱ゆとり教育」ではなく、知識、技能、学習意欲、思考力、判断力、表現力といった学力をバランスよく育てる学習の内容を明確にした教育活動の充実を意図していると考えています。知識ばかりに偏ったものではありません。総合的な学習の時間、あるいは問題解決的な学習を通して教科等の学習指導でも進めているので、先生方の今の力量からすれば、自信を持って新しい教育課程に取り組むことができます。

幼児期の教育を公教育で行うかどうかは、子ども部などと考えていかなければならない

と思います。教育委員会では、小学校と幼稚園、保育所が互いの教育内容あるいは教育方法について、共通に理解して連携できるように、保幼小の連絡協議会を毎年実施しています。

「夢とみらいの子どもプラン」は、本市教育の共通の指針であり、教育委員会と市長部局が車の両輪となって進まなければ具体化はしません。市長は、市の指針を示した責任者です。大野城市を愛し、ふるさとを誇りに思う主体性、創造性そして思いやりの心を持つ子どもを育てようというリーダーシップを発揮しているところであり、立派な教育をつくっていききたいと思っております。



増え続ける食物アレルギー
 給食は？

清水 純子

問 給食での食物アレルギーの対応について

・食物アレルギーの子どもたちが増加しているが、実態把握はいかがか
 ・食物アレルギーの子どもたちの保育園、幼稚園、小中学校における給食の現状について

・安全で安心な給食を子どもたちに提供するための統一した基準や食物アレルギー対応のマニュアルについて

答 保育園は入園時に食物アレルギーの児童の実態を把握しています。市内の保育園児1、657名のうち食物アレルギーの児童は102名で6.1%です。市内小中学校では、年度初めの保健調査をもとに把握しており、給食でアレルギーによる対応を必要とする子どもは、平成22年4月現在、小学校140名で全体の2.3%、中学校41名で全体の1.4%です。

学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドラインが財団法人日本学校保健会から示されました。そのガイドライン及び市の学校給食会で作成されています。



る食物アレルギー児童への対応の基準に準拠して、安全安心な学校給食を提供しています。

保育所は保護者、保育士、栄養士、調理員等が連携の上、各園で基準を作り、アレルギー除去食での対応や代替食品などのきめ細かな献立や、個別の対応をしています。

また、平成21年度から保育園から就学先の小学校の校長先生へ子どもたちの食物アレルギー等を記載した保育要録を送付しています。

現在、対応していることを、ホームページ上で公開していくことはできますので、対応していきたいと考えています。

大野城市議会トピックス

新規採用の国家公務員が 傍聴研修を実施！

4月から国家公務員となった新規採用職員3名が東京より来福、大野城市役所において、初任行政研修（地方自治体実地体験）を行いました。

研修最終日の6月11日（金）、市議会6月定例会の一般質問を議場で傍聴し、地方行政への理解を深めました。

今回の研修の成果を十分に発揮して各府省で活躍してくれることに期待します。

また、今年度も大野城市役所新規採用職員に対し、議会研修を予定しています。



傍聴研修を終えて

総務省

情報通信国際戦略局

通信規格課 野山 愛一

大野城市の今後について、幅広くかつ細かい内容まで、質問と回答があり、多くのことを明確にして皆で共有し、今後の指針にしていくのだという熱意が感じられました。

法務省

保護局 更生保護振興課

井澤 哲

市議会は最も私たちの生活に近い議会です。

議員の皆さんの議論から、市政を代表しているんだという責任と気迫が伝わってきました。

特に大野城市は行政と市民の距離が近い自治体だと思います。

農林水産省

関東農政局土地改良技術事務所

建設技術課 麻柄 紀子

まちづくりの議題では、事業に伴う地域の安全対策や早期着工・完成の要望など、直接市民の生活にかかわる論議がされており、市民生活や市民目線の行政を支えている場であると感じました。

表紙の説明

東地区の史跡・文化財

大野城市内には、様々な史跡・文化財が存在します。今回は、東地区にある史跡・文化財を紹介します。

①四王寺山と大野城跡

国特別史跡の大野城跡を擁する大野山は、奈良時代に四王寺が建立されたことから四王寺山とも呼ばれ、市民の散策の場として親しまれている。

②三角縁神獣鏡

中区の御陵古墳から出土したと伝えられる古墳時代前期の鏡。当時の豪族の勢力をつかがうことができる。

収蔵場所 大野城市歴史資料展示室（市役所新館3階）

③釜蓋道標石

江戸時代に地元の人々によって建てられた。正面には「これより左うみミち右やまえ口」と刻まれている。

所在地 大城4丁目、インターゴルフクラブ前

④王城山4号墳

古墳時代後期の円墳。東地区の多くの古墳の中でも特に保存状態が良く、副葬品も多く残されていた。

所在地 乙金2丁目、ピアノターミナルナカムラ株の敷地内

⑤夏越し被い祇園踊りの絵馬

江戸時代に描かれ、当時の習俗や服装などを知る上で貴重な資料。

所在地 乙金2丁目、乙金宝満神社の拝殿に奉納

輝け！コミュニティ

<大野城市議会は各コミュニティの活動を応援しています！>

今回からコミュニティ情報を掲載します。今回は各コミュニティ運営委員会の皆様を掲載しています。



（東地区コミュニティ運営委員会）

東地区は、他の地区に比べると人口規模では最少ではありますが、当地区にある市のシンボルでもある大野城のもと、地区カラーの赤の如く温かく人情味のある地域です。そのような地区カラーを大切に、楽しく元気に活動しています。



（北地区コミュニティ運営委員会）

北地区はコミュニティセンターに市民プールが隣接し、その近くには農産物直売所「ゆめ畑」もあります。

役員を中心に、新しいコミュニティの確立を目指し頑張っています。



（南地区コミュニティ運営委員会）

南地区は、牛頸山や蛸の見られる牛頸川など、自然豊かな環境があります。

友愛・理解・信頼・思いやりを合言葉に、明るくすみ良い南地区をみんなの力で築いています。



（中央地区コミュニティ運営委員会）

中央地区には、まどかびあや大文字まつりの行われる大文字公園があり、人の行き来が多い地域です。

安心・安全、思いやりのある、明るく元気ですみやすいコミュニティを目指しています。

議会だよりについて、
みなさまのご意見、
ご感想をお寄せください。

〒816 - 8510

大野城市曙町二丁目2番1号

大野城市議会事務局

ダイヤルイン 580 - 1938

FAX 585 - 8224

市議会ホームページ

<http://www.city.onojo.fukuoka.jp/shigikai>

今回の表紙から、大野城市の史跡・文化財を紹介しています。昨年の夏、下大利地区の方々が太宰府市と連携し、紙袋で作った灯笼を利用した、「古都の光」という祭りが水城跡で開催されました。

それまでは、奥のほうまで足を伸ばしてみることがありませんでしたが、「こんな風になつてゐるんだ」と新たな発見もありました。

どうぞ皆様にも健康づくりも兼ねて、紹介されたところに足を運ばれ、私たちの郷土を今一度見つけて頂けたらと思います。

(K・A)

あんでな